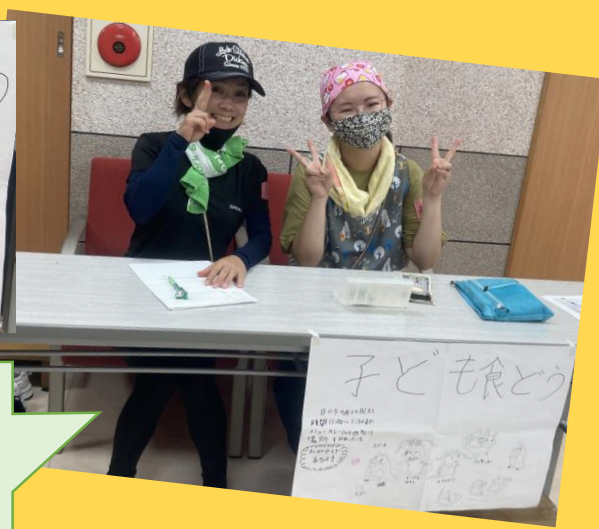
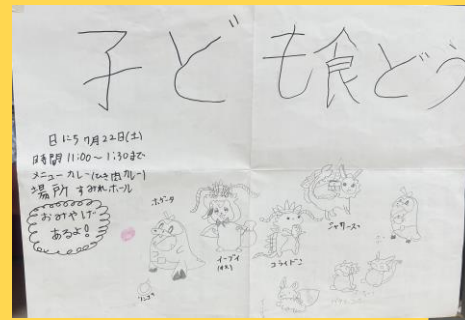


活動紹介 @ 大和八木こども食堂

7/22に内膳町のすみれホールで開催された大和八木こども食堂に、市職員がお邪魔してきました。

本日は、20人以上のボランティアさんがお手伝いに参加され、100食分以上のカレーを準備されていました。参加するのに予約はいらないので、沢山来られても大丈夫なように多めに準備されています。

大和八木こども食堂は会食形式なので、会場には配膳場所と食事をするテーブルなどが準備されていました。



手書きの案内がとてもかわいい♪
予約不要ですが、受付でお名前をお聞きします。

受付をしたら、配膳場所へ。
ボランティアさんが待っていてくれます♪



大容量の鍋に一杯のカレーやサラダ。
前日から仕込んでくれています!!!

メニューはひき肉のカレー、万願寺とうがらしとツナのサラダ、チキンナゲット。お米、じゃがいも、玉ねぎ、万願寺とうがらしは地元の方などからの頂き物です。地域のつながりを感じました。



参加者だけでなく、ボランティアの方々も、交代で同じ場所で『いただきます！！』



みんな、美味しそうにカレーを頂いていました。
色々な世代の方々が、同じ場所でワイワイと食事をするような機会はなかなかないので、とても楽しそう♪
子ども達もここに来ればお友達に会えるので、ロビーで集まって楽しそうに遊んでいます。
ボランティアの方々にとっても大切な交流の場となっているそうです。

ボランティアの方々にもインタビューしてきました！！

檀原地区更生保護女性会の方や、高校生、地元の方々など沢山の方が参加されており、みなさん、終始笑顔で楽しそうに活動されていました。



バルーンアートでリボンや犬などを作ってくれました。子どもたちも、作品をもらって大喜びです(*´艸`)

参加される方の居場所であることはもちろんだが、スタッフの居場所にもなっている。大人も子どももおじいちゃんもおばあちゃんもみんなが来れる場所と言うのが、大和八木こども食堂のカラーだと思う。『みんなで同じ鍋を囲む』ような場所になれば良いと思う。

他の高校の生徒や色々な人と交流ができる場所。こども食堂の活動はすごく良いことだと思うので、もっと知ってもらって色々な人が来てくれたら良いと思う。

普段、子どもと接する機会がないので、参加することで、色々な人たちと関わることができて楽しい。

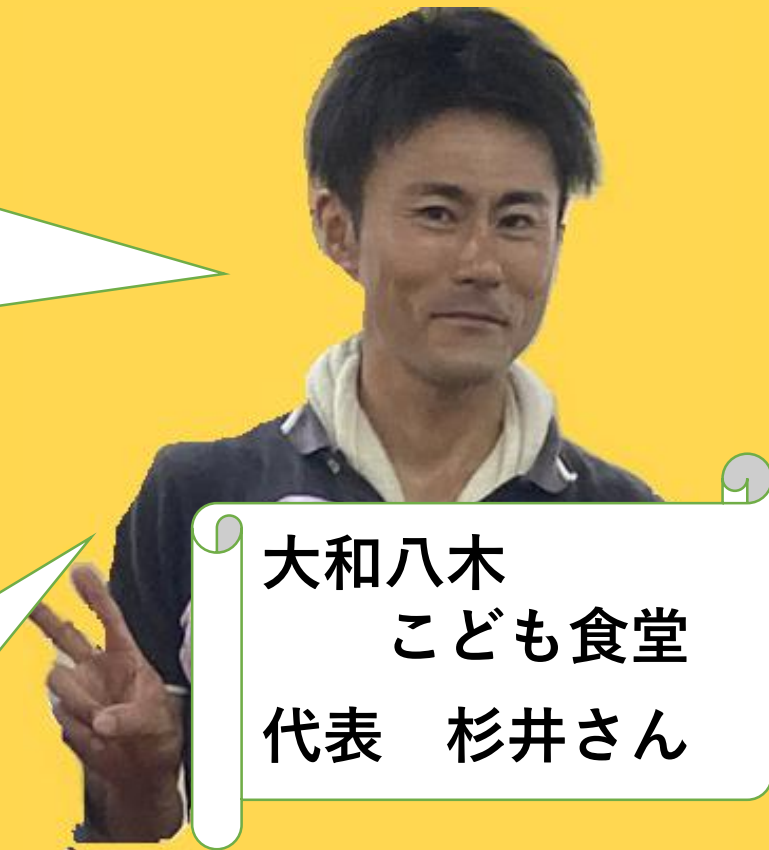
代表の杉井さんにインタビューしてきました！

食堂の活動を通して感じたことは？

みんなで楽しくやっています。やっと地域にも馴染めてきたかなと感じています。誰が来てくれても良いと思っていますので、どんな世代の方でも、学校帰りの学生さんでも、ふっと立ち寄れる場所になれたらと思っています。色々な方たちの交流の場になれば良いと思っています。

地域の方へ発信したいことは？

現状は、幼稚園のママ友つながりで来てくださっている方が多いので、幼稚園児が来てくれることが多いです。小学校や中学生にも、もっと広げていけたら・・・と思っています。



大和八木
こども食堂
代表 杉井さん

利用者さんの声を聴きました！

「ここに来れば、お休みの日にお友達に会えるので、子どもがとても楽しみにしています。毎回喜んで参加しています。」(利用回数5回目)

「地元には子ども会やこども食堂がなく、HPで探して初めて参加しました。お店で食べるより子どもが喜んで食べています。」(利用回数初めて)

「子ども同士で食べたなら喜んでモリモリ食べてくれます。毎回楽しみにしています。」(利用回数10回目)

「子ども同士、保護者同士の交流の場として参加しています。無理なく続けていって欲しいです。」(利用回数5回目)

ご協力、ありがとうございました!!

